

平成28年度第3回東海市地域公共交通会議 会議録

- 会議の名称 平成28年度第3回東海市地域公共交通会議
- 開催日時 平成28年12月16日（金）午後1時30分から午後3時まで
- 開催場所 東海市役所 302会議室（3階）
- 出席委員 近藤福一（会長）、渡邊元芳（副会長）、嶋田喜昭（議長）、勝田厚秀、古田寛、藤田重記、大脇美一、齋藤信弥、清信裕、片桐眞砂子、上尾将文、大里美栄子、片山雄介、伊知地知子、堀越正一、平木壽一、山田浩、杉本忠久、守山睦、脇田英生
- その他 橋本大輔（知多乗合株式会社）、山田継昭（名古屋鉄道株式会社）、稲野勝（知多つばめタクシー）、石屋義道（愛知県振興部）
- 欠席委員 井上莊之助、森田英二
- 事務局 総務部長、危機管理監、交通防犯課長、同統括主任、同主任
- 傍聴者の数 なし
- 議題及び審議の概要
 - 1 開会のことば
 - 2 会長あいさつ

皆様、こんにちは。会長を仰せつかっております、東海市副市長の近藤でございます。委員の皆様におかれましては、年末のお忙しい中、また、寒い中にもかかわらず、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

また、日頃は、市政各般に渡りまして、ご理解とご協力をいただき、この場をお借りして、厚くお礼を申し上げます。

さて、後ほど事務局より報告させていただきますが、循環バスの利用者数は増加しており、75才以上の高齢者の運賃無料化が実施された8月以降は毎月32,000人以上の方々にご利用いただいております。

また、9月から11月末までの間に運転免許証を自主返納された75歳以上の方から、支援事業としてのタクシー料金助成券が好評を得ており、運転免許証自主返納者の増加に大きく貢献しております。これに留まることなく、さらなる公共交通の利便性向上に努めてまいります。

本日の協議事項におかれましても、委員の皆様には、それぞれのお立場で、市

内の公共交通をより良いものにしていくために、建設的な御意見を頂戴したいと存じます。終わりに、当交通会議の円滑な運営に対し、御協力をお願い申し上げます。まして、簡単ではございますが、あいさつとさせていただきます。

どうぞ、よろしくお願いいいたします。

3 報告事項

(1) 前回の会議録の確認について及び

(2) 循環バスの利用状況等について

事務局による資料2、資料3の説明

(委員)

利用者数が増えている一方で収入が減っているため市の負担が増大している。他市では財政負担を減らすといった話も議題に上がるが、バスを運行する目的を改めて明確にしながら取り組んでいただきたい。また、前回の話にもあったルート別の利用者数データはどのようになっているか。

(事務局)

ルート別の利用者数データは現在行っているOD調査後には提示できるため、次回会議までお待ちいただきたい。

(議長)

利用者数の報告を受ける段階で、ルート別の数値は出て来ないのか。

(事務局)

現在は一日当たりの合計で報告をうけており、ルート別まで把握できていない。11月に行った調査結果では、北ルート及び中ルート④の利用が多い結果が出ている。

(委員)

高齢者の無料化に伴い、有料乗車率の変化はどのようになっているか。

(事務局)

今年の6月から11月までの有料乗車率は、6月が69%、7月が70%、8月が67%、無料化が始まった9月が48%、10月が47%、11月が42%であった。前年9月は66%、10月が70%、11月が66%であり、有料乗車率は約20%減少している。

(議長)

利用者は増加しても無料対象者が多いため、運賃収入がマイナスとなっているが、このペースだと年間で市の負担はどの程度増える見込みであるか。

(事務局)

一月あたり50～60万円程減少しているので、350～400万円程の減収を見込んでいる。

(3) バスの乗り方教室について

事務局による資料4の説明

(委員)

参加児童の反応はどうであったか。

(事務局)

児童は交通安全教育の観点からも興味深く取り組んでいた。学校側からも非常に楽しく、こういった機会が多くあれば利用に繋がるのではないかとの意見をいただいている。簡単なアンケートも実施を予定している。

(議長)

市内の小学校で実施済は何校か。

(事務局)

12校中3校で実施した。今後は順次実施校を増やしていく予定である。

5 協議事項

(1) 平成28年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について

事務局による資料5の説明

(委員)

補足になるが、横須賀A線については地域間幹線系統として国庫補助を受けており、認定を受けるため愛知県バス対策協議会にて地域間幹線系統確保維持改善計画を策定し国へ提出している。それに伴い事業実施後には事業評価を行うこととなっている。今回協議いただいている資料は国へ提出する様式ではなく、県が取りまとめを依頼した様式であり、このような会議の場で協議いただくためのものである。

(委員)

今回資料となっている中部様式は、中部運輸局独自の様式であり、国土交通省へ提出する様式は別途ある。本省様式は国庫補助を受けている系統路線のみ

記載するものとなっているため、ネットワーク全体の評価をすべく中部様式の作成を依頼している。この評価を利用しながら地域公共交通網形成計画の評価も行っていたらと思う。

内容に関して、将来の公共交通イメージ図があれば資料に入れ込んで示していただきたい。取組み内容については、免許証自主返納事業に関するものも記載して付け加えてはどうか。

(議長)

作成し提出した後の流れはどのようになっているのか。

(委員)

1月17日までに愛知運輸支局へ提出していただき、2月上旬頃には中部運輸局のHPで公開される。それと同時期に学識者を交えた第三者評価委員会が開催され、二次評価を受けていただくこととなる。

議長による承認採決

(一同)

承認

(2) 東海市公共交通網形成計画の推進について

事務局による資料6の説明

(委員)

路線バスのOD調査について毎年6月に実施をしているが、10月1日に横須賀線・上野台線ともにダイヤ改正を行ったため、12月に臨時調査を行うものである。調査結果の概要として本数が減便されたが、利用者数の減少は僅かであった。市を跨ぐ乗車人数の減少もなかったため地域間幹線系統としての役割は果たせていると感じている。

(委員)

市と共同で行う防犯・交通安全啓発活動の一環として車内の広告スペースを利用する際にも費用負担が発生するのか。

(事務局)

市の掲載スペースも確保するので、そちらを活用できればと考えている。バスの利用者層を勘案し、掲載内容の優先順位をつけていきたい。また前回会議で議論のあった回数券の購入による方式ではなく、広告料として料金を受領す

る方式と修正したい。

議長による承認採決

(一同)

承認

(3) バス停移設について

事務局による資料7の説明

(委員)

移設等の時期はいつになるか。また、町内会への連絡はあるのか。

(事務局)

仮移設は実施済である。本移設は工事の進捗状況によるため未定である。町内会への連絡は、他のバス停移設の際にも実施していないので、行う予定はない。利用者に対しては、バス停に移設の旨の表記を行った。

(委員)

警察等への報告は済んでいるか。

(事務局)

報告を行完了承済である。

議長による承認採決

(一同)

承認

5 その他

次回開催日の連絡

6 閉会のことば